



シール印刷、日本トップクラス 独自のビジネスモデルで強さを発揮



紙器加工製品

設立 昭和43(1968)年
 資本金 4,500万円
 本社所在地 久留米市山川市ノ上町7-20
 代表取締役 平木 洋二
 従業員数 430名
 事業内容 食品・文具等の包装、デザイン、印刷加工等
 受賞歴等 平成28年「第26回シールラベルコンテスト」(経済産業大臣賞)／平成29年「第27回シールラベルコンテスト」(日本印刷産業連合会会長賞)／平成30年「第29回 世界ラベルコンテスト」(最優秀賞)(審査員特別賞)

公式サイトはこちら!



顧客の要望を叶える トータルパッケージ企業

印刷紙器加工で地位を築く

昭和43年 進物用木箱の製造からスタートした株式会社丸信。当初は食料品を中心とした包装資材を取り扱っていました。その後、スーパーマーケット等での食品トレイも手掛けること。そして、パレットシールや値引きシールなど、シール印刷の需要があることを見いだし、昭和53年、自社でシール印刷を開始します。平成に入り、食品ラベルや包装を中心とした化粧箱とシール印刷が業務の柱となりました。

顧客と社員の満足度向上を自指す

また、顧客商品の販売促進に役立てるため、丸信の強みは、包装から販売促進まで、パッケージに関する全ての業務を自社で一貫して行えること。顧客ニーズをダイレクトかつスピーディーに商品開発へ反映させるため、社内デザイン部門も設置。現在20名以上のデザイナーが所屬しています。このことで、より消費者に訴求力のある包装やシール印刷のデザインを顧客に提案できるようになりました。

自社でショッピングサイトを運営しています。そのノウハウを活かし、顧客自身のウェブ制作や通販事業のサポートなども始めました。全ては顧客の満足度を高めるためです。取引先の会社に短期就労するなどユニークな社員教育も行っていきます。これも顧客の事をより理解するためのものです。さらに、働きやすい職場づくりも進めています。最近では、従業員の福利厚生の一環として、企業内保育所を開設しました。

包装会社がシール印刷・デザイン・販売促進まで、パッケージに関するあらゆる業務を手掛けるのは全国でも希少。独自のビジネスモデルで強さを発揮しています。

